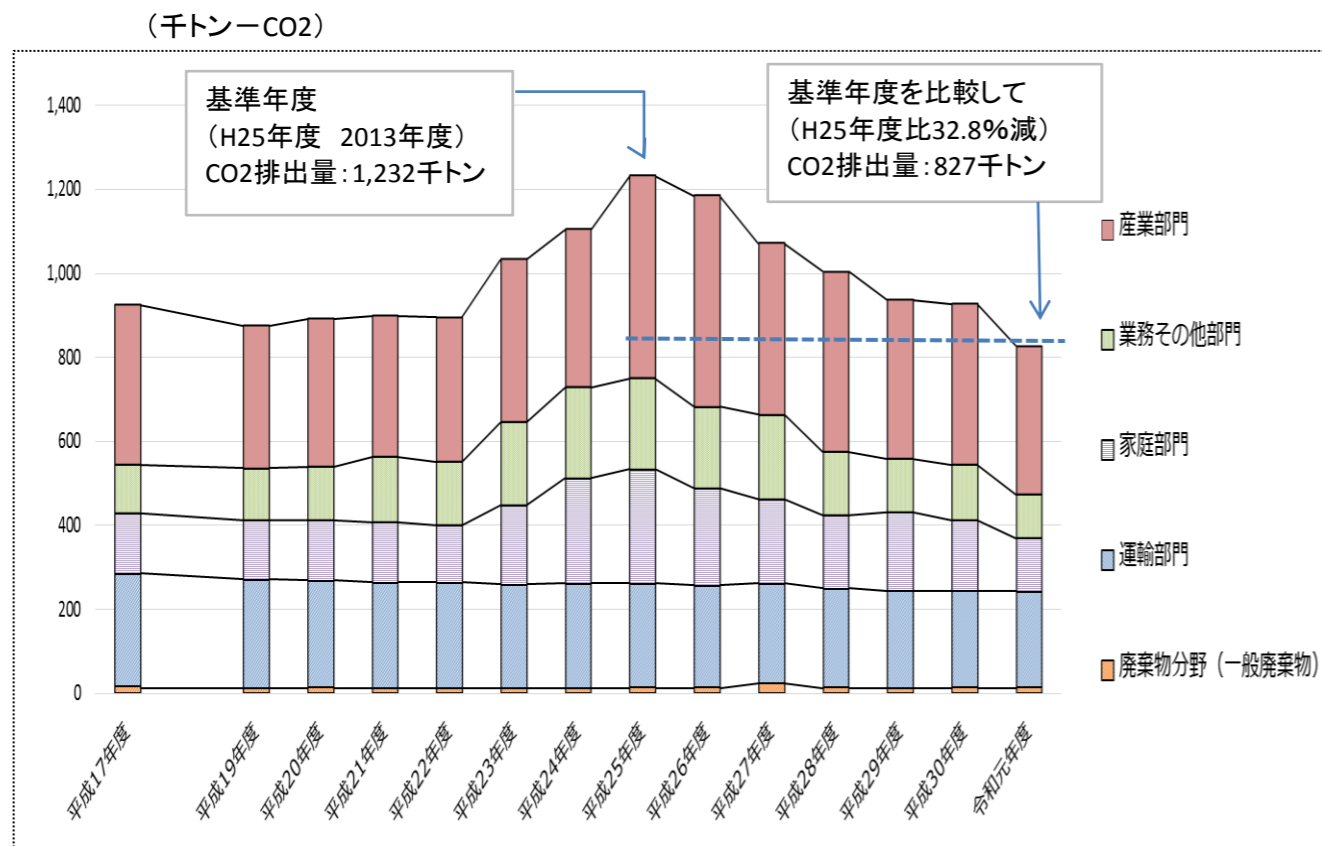


# ゼロカーボンシティの実現に向けて！

## 〇丸亀市の現状

国は2050年のカーボンニュートラルの実現とともに、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標に実現に向けて、再生可能エネルギーの主力電源化が求められています。本市は令和3年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、公共施設の取組に加え、地域全体の温暖化対策に取り組んでいきます。取組にあたり、本市の温室効果ガス（CO2）排出量などの現状をお伝えします。

### 温室効果ガス（CO2）排出量の現況は？



※「業務その他部門」とは事務所、商業、サービス施設等

### 減少傾向です

基準年度（H25年度 2013年度）と比較して、家庭部門、業務その他部門で減少により、405千トン、率で32.8%減となっています。太陽光発電設備の設置やLED化、省エネ設備の導入によるものと考えられます。

### 排出量の内訳

部 門		R1年度(2019年度) 排出量 (千トン-CO2)	
産業	製造業	336	
	建設業・鉱業	6	
	農林水産業	12	
	小計	354	
業務その他		104	
家庭		127	
運輸	自動車	193	
		旅客	115
		貨物	77
	鉄道	7	
	船舶	27	
	小計	227	
廃棄物		15	
合計		827	

※データは「自治体排出量カルテ（環境省）」より



CO2排出量が多い分野は・・・

- ①産業が43%
- ②運輸が27%
- ③家庭が15%

産業では製造業、運輸では自動車の排出量が多い傾向となっています。

### 対策は？

裏面をご覧ください

# 丸亀市の将来像

○地球の未来のためにカーボンニュートラルの実現を目指す

- ①徹底した省エネルギーを推進します【緩和策】
- ②再生可能エネルギー等の導入拡大を推進します【緩和策】
- ③気候変動適応策を推進します【適応策】

## 国の目標（温室効果ガス排出量削減率）

- ・2030年度までに、2013（H25）年度比46%削減
- ・2050年に、温室効果ガスを実質0へ（カーボンニュートラル）

- ★1 目標達成に向け、市全域で①～③を取組んでいきます。
- ★2 今後、市全域での再生可能エネルギー導入調査を実施します。

### 施策①

#### 市民・事業者のみなさんと省エネルギー生活への転換の推進

主に電力を中心とした省エネ施策を推進します。

○市民のみなさんへ

- ・クールビス・ウォームビズの実施
- ・電化製品等の買替時にはクールチョイスを
- ・自宅での緑化 など



○事業者のみなさんへ

- ・設備機器の更新時には省エネ機器
- ・省エネ診断の活用と取組
- ・自動車のエコドライブ、EV化 等



### 施策②

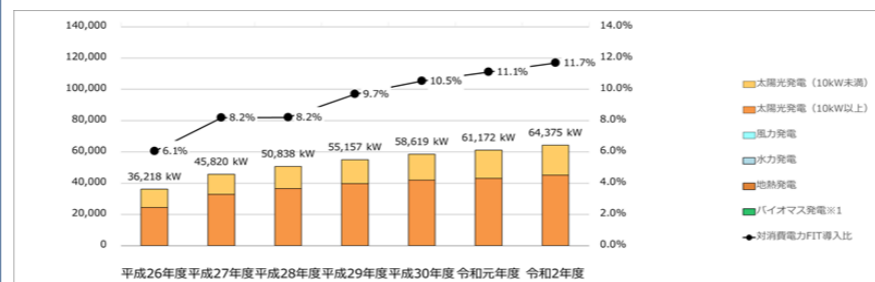
#### 再生可能エネルギー等の導入の推進

太陽光発電システムや蓄電池などの再生可能エネルギーの情報発信を行い、家庭・事業所での普及促進を図ります。

○市民・事業者のみなさんへ

- ・太陽光発電設備や蓄電池の導入検討
- ・再生可能エネルギーの比率の高い電力の選択

○市内の再生可能エネルギー導入状況



再生可能エネルギー種別	令和2年度
太陽光発電（10kW未満）	19,170
太陽光発電（10kW以上）	45,140
水力発電	65
再生可能エネルギー合計	64,375

市内の再生可能エネルギーは太陽光発電が主

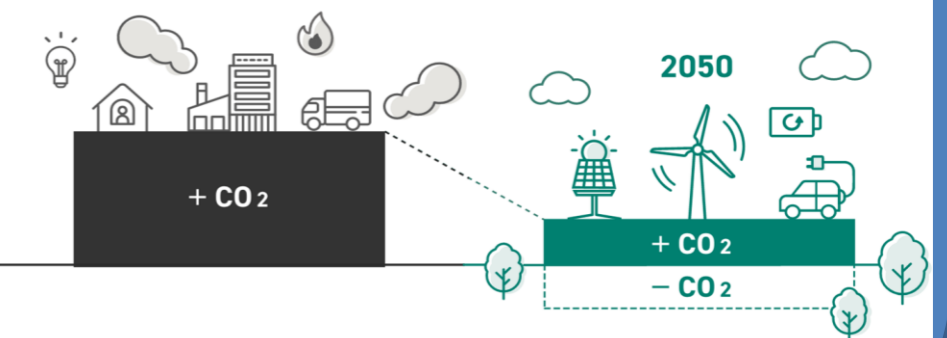
### 施策③

#### 気候変動に伴う自然災害、気温上昇による熱中症などへの対策

○市民・事業者のみなさんへ  
起こりうる地球温暖化の影響に対応するため自然災害、健康などの対策を



2050年にカーボンニュートラルの実現を



図・表は環境省HPより「自治体カルテ」「クールチョイス」等